

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 イザ 62:4-5 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 103番
- *交読文 …… 55番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 107番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 104番
- メッセージ …… 男と女はいかに歩んで行くべきか(マタイ 2:13-15)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 105番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告と歓迎 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

(男____)は、神のかたちであり栄光である…。(女____)は、また(男____)の栄光である。なぜなら、(男____)が(女____)から出たのではなく、(女____)が(男____)から出たのだからである。また、(男____)は(女____)のために造られたのではなく、(女____)が(男____)のために造られたのである。…ただ、主にあっては、(男____)なしには(女____)はないし、(女____)なしには(男____)はない。それは、(女____)が(男____)から出たように、(男____)もまた(女____)から生れたからである。そして、すべてのものは神から出たのである。(1コリント 11:7-12)

わたしは、ダビデの若枝また子孫であり、輝く明けの明星である。御霊も花嫁__も共に言った、「きたりませ」。また、聞く者も「きたりませ」と言いなさい。かわいている者はここに来るがよい。(黙示録 22:16-17)

御使いが乙女マリヤに現れ、御心を示された場面は有名だが、マリヤがヨセフと結婚して以降、御使いはもっぱらヨセフにだけ現れて言葉を伝え、ヨセフはそれを妻に伝え、妻はそれに従う、という形となった。マリヤとヨセフ両方には現れず、敢えて夫ヨセフだけに現れ、この一家全体を導いたのには、理由がある。**権威には順序があって、妻(女)のかしらは夫(男)であり、夫(男)のかしらはキリストなのだ。**(1コリント 11:3) 救い主メシヤを、幼少から成人に至るまでを任されたこの男女は、この権威関係を正しくキープし続けた。それに引き換え、アダムとエバ夫婦はことごとく自分の「かしら」に逆らった故、人類に罪と死を導入した。アドベントも第3週に入りクリスマスが近づく今、男女はいかに歩んで行くべきか、聖書から改めて学びたい。

神は自然界を創造した後、男を女より先に創られた。神は土を御手でこねて人を形づくり、その鼻に息吹(霊)を吹き入れ、こうして神の似姿である人が創られ、全被造物の支配は、彼に委ねられた。その全被造物の有様は極めて良かったが、神が唯一良くないと言われた事があった。それは「人がひとりであること。」人は、ひとりである欠けがあるので、寄り添って生きるように創られている。主は男に深い眠りを与え、あばら骨の一つ取ってそこをふさぎ、その骨を元に女を創られた。全てのものは土が元となって創られたが、唯一、人間の女だけは、男の骨を元として創られたのだ。女は男を元にして男のために造られた。それで男は、女のかしらである。これが、聖書が示す所である。**(1コリ 11:7-12)**

しかし昨今、それに相逆らう価値観が沸き起こっている。男性も女性も平等な存在で、男性は支配せず、女性も積極的に独り立ちすべきだ、という考え方は、サタンに由来する。サタンは神の支配から独立し、神と他の存在との平等を主張し、自らを一個の独立した神のような存在になろうとした。本来、男も女も、かしらが必要である、というのが神の摂理だが、サタンの主張は真逆で、自分がかしらとなって支配しようとする。だから、性差別を無くし男と男、女と女の嗜好も許されるという考えは、サタン由来の忌み嫌うべきものだ。

神は元々、人を男と女とに創られ、そして人は元々、神と共に生きるように創られた。それで人は、聖書を知らなくても、生まれつきになぜか神を求め、男は女を求め、女は男を求めるようになっていく。互いが互いを必要とし、互いが互いを求め合う存在であるのは、神がそのように創られているからだ。

主はまず男を創られ、そのあばら骨の一つから女を創りあげられた。つまり女性が元々いた所は男性の脇腹である。だから女性は、男性の腕の下にかばわれている時、もっとも安心する。本来の居場所だからだ。

女性は男性の覆いに包まれ、保護の下にいる事を望む。それは正しい姿だ。雅歌書の花嫁は、花婿は彼女にはりんごの木のように、その陰に座りたいと切に望み、彼女の上に翻る旗じるしは愛であると言った。『どうか、彼の左の手がわたしの頭の下にあり、右の手がわたしを抱いてくれるように。』(雅歌 2:6)

ルツもボアズに、『どうぞあなたの衣(布団)の裾を広げて、このはしめを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方(ゴエル:買戻しの権利のある親類)です。』と願った。(ルツ記 3:9)

女性が男性の陰に宿る事が欲求であり必要であるように、人は全て、全能者の陰に宿る事が必要である。私達はそのままでは欠けがある。だから、私達を絶やさぬよう、買戻して下さい。キリストが必要なのだ。

女性が男性を求めるように、男性も、主が創られた助け手である女性を求めるものである。元々一本の骨だったエバが、主の御手で整えられてから、アダムに所へ連れて来られた時、アダムは、はなはだ喜んだ。イザヤ 62 章で主はイスラエルを「わたしの喜びは、彼女にある。」(ヘブシバ)と呼ばれ、「夫のある国」と呼ばれるだろう、と言っている。『**花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ばれる。**』(イザヤ 62:5)

花婿は花嫁を喜ぶものであり、未婚の男性が、その喜び・慰めである花嫁を得たいと求めるように、キリストも、花嫁である教会が整えられ、完成し、ご自身の御腕の中に迎え入れるのを、望んでおられる。花嫁が迎え入れられるのを待ち望んでいるように、キリストも待っているのだ。花嫁が、整えられるのを。私達は、整えられるための努力を、しているだろうか。イエス様に嫁ぐ花嫁修業をせず、ただ漠然と待っていないだろうか。主がいつ来ても良いように、ともし火と共に、油も用意しているだろうか。(マタイ 25:1-13)

男女の性が乱れている今、男性は女性のために、女性は男性のために、そして、私達は全て、キリストのために自らを整え、相手にとって喜びとなる皆さんでありますように、主イエスの名によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube

